

## 作業報告

日 時 2015年3月2日(月) 07:30~11:30  
場 所 上り線 14k265m~14k240m

### 作業内容

A班0名、B班6名、C班7名、D班7名 計20名  
・PCマクラギ交換 35本 上り線 14k264m~242m (L=22m)  
・むら直し 上り線 14k265m~240m

今日は、農民革命記念日で祭日だが、B, C, D班の20名だけで最後のマクラギ交換を行った。

朝から蒸し暑くの最高気温は41℃まで上がり、11:00でレール温度は46.4℃であった。マクラギ交換は終了したので、今週中に50Nレール降しを行う。

明日からは、レール交換予定区間のむら直し、総つき固めを行うが、区間前後端50m程度も合わせて整備を行っていく。

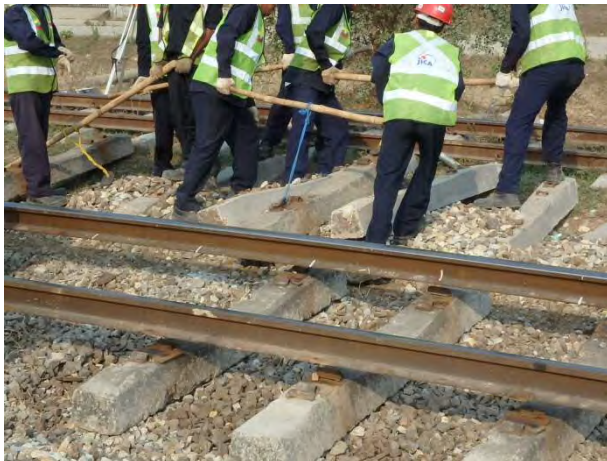
最高気温 41℃ 最低気温 21℃ 湿度 31% 曇り/晴れ  
レール温度 28.0℃ (08:00) 46.4℃ (11:18)



バラスト撤去開始



レール吊上げの為施工区間のクリップ開放



レールを吊上げ、マクラギ撤去



新マクラギ挿入



クリップ締結



水糸で通り直し



バラストかき上げ



むら直し



タンパーで道床つき固め



14k242m からバギー方施工後

## 作業報告

日 時 2015年3月3日(火) 07:30~11:10  
場 所 上り線 14k348m~14k425m

### 作業内容

A班6名、B班6名、C班7名、D班7名 計26名  
・ 碎石補充 上り線 14k348m~425m  
・ むら直し 上り線 14k348m~385m

本日は、A~D班が全員集まれる日であったので、碎石補充と突き固めを中心に、作業を行った。碎石補充作業はマクラギ端から400mm以上となるラインまで補充した。

今日も暑く、最高気温は41℃であった。

レール温度は、11時の時点で47℃、12時30分(環状線 Kanbe Sta.)の時点49.4℃(ともに太陽に当たる前面側)であった。

明日は、満月の祝日だが作業を行う。本日より同様に上り線のむら直し及び道床碎石補充を予定している。B、C、Dの研修生は明日で終了となる。

最高気温 41℃ 最低気温 22℃ 湿度 30% 晴れ



作業前の状況



橋台背面検測



バラストかき集め



碎石補充の全体の状況



マクラギ端補充状況



測量の状況



むら直し



橋台背面部突き固め



ランマー使用の状況



作業終了後の状況

## 作業報告

日 時 2015年3月4日(水) 07:30~10:30  
場 所 上り線 14k360m~484m

### 作業内容

A班1名(連絡)、B班6名、C班7名、D班7名 計21名

- ・通り直し 上り線 14k360m~390m
- ・碎石補充 上り線 14k415m~484m
- ・突き固め 上り線 14k413m~429m

本日は、満月の祝日のためヤンゴン地区のA班は休み。地方から研修で来ているB班~D班で研修を行った。作業内容は、通り直し、碎石補充、突き固めを行った。マンダレー方は、バラストが少なくなってきたので、ヤンゴン方からトロで運搬して運んで、碎石補充を行った。

明日は、橋梁前後の碎石補充等を行う予定。B、C、Dの研修は今日で終了。

明日と明後日は、A班のみで研修を行う。

最高気温 41℃ 最低気温 21℃ 湿度 29% 晴れ



作業前の状況



機材運搬状況



碎石運搬



碎石補充の状況



突き固め



測量の状況



通り直し



ランマーの使用



終了後の状況



B, C, D 班の記念写真

## 作業報告

日 時 2015年3月5日(木) 07:30~11:30  
場 所 上り線 14k220m~340m

### 作業内容

A班5名

- ・ 砕石補充、かき上げ 上り線 14k220m~340m
- ・ 機材搬入

今日と明日は、A班のみでの作業となる。バラスト補充とかき上げを行った。人数が少なかったものの効率的に行うことができた。

明日は、午前中の列車間合いの中で、レール運搬車を臨時で走らせ、50Nレールのとり下ろしを現地で行う。現場の作業員の話では、クレーンが動かないという話である。人力によるとり下ろしを行うことも想定し、安全ロープを用いたとり下ろしも想定している。また、A班だけでは、足りないので6人程度の作業員を追加要請した。

また、明日のレールとり下ろし作業に向けて、必要な資機材の搬入を行った。

最高気温 38℃ 最低気温 21℃ 湿度 32% 晴れ



作業開始直後



かき上げ作業中



砕石運搬



砕石補充



仕上がり後の状況



機材の発送の状況



資材の到着状況



踏切監視小屋での機材保管状況



踏切脇での機材保管状況



環状線でのレール温度測定

12時30分 49℃



## 作業報告

日 時 2015年3月6日(金) 07:30~14:30  
場 所 上り線 14k250m~340m

### 作業内容

A班8名、補助7名 計15名  
・50N レール取卸し 上り線 14k250m~340m

今日は、50N レールを取卸すということで、A班に加えて作業員を追加要請した。トーチャンカレー駅にレール運搬車がすでに待機していた。クレーンも待機していたが、レール運搬車にレールが載っていない車両だったので、使用できないと判断し、人力で取卸すことにした。

午前中は、準備作業で、午後からの列車間合いで行った。

取卸せたレールは、中継レール4本と25mレール7本であった。残り、13本のレールの取卸しについては、急遽、追加で明日に作業を行うことにした。

最高気温 38℃ 最低気温 20℃ 湿度 26% 晴れ



トーチャンカレー駅構内のレール運搬車



クレーン付きの運搬車（今回は使用せず）



取卸前の状況



事前作業（マーキング）



中継レールの取卸し



50N レール取卸し準備の状況



50N レール取卸しの状況



レールフォークによる回転



取卸したレールの整正



取卸し終了後の状況

## 作業報告

日 時 2015年3月7日(土) 08:00~11:40  
場 所 上り線 14k360m~510m

### 作業内容

- A班8名、補助4名 計12名  
・50N レール取卸し 上り線 14k360m~510m  
(別班で、ヤンゴン~バゴ間の動揺測定)

今日は、昨日取卸すことができなかった13本の50Nレールの取卸しを行った。  
9時過ぎの上り線の旅客列車が出発後、11時頃の旅客列車までの合間で作業を行った。  
(通常はこの合間に貨物列車が通過するが、本日はなかったためうまく作業ができた。)  
レールの取卸しは、昨日同様、人力で行い、継目板とボルトは盗まれないように、近くの踏切監視所に保管した。

これにより、No.16の橋梁のヤンゴン方に7本、バゴの方に13本の50Nレールの取卸しを行った。来週からは、レールの穴あけを早急に行う必要がある。

最高気温 38℃ 最低気温 19℃ 湿度 21% 晴れ



機材積み込み



運搬車に乗って移動



分岐器通過時のレール運搬の状況



取卸し準備



取卸しの状況



継目板とボルトの取卸し



ボールを用いたレールの回転



山越器によるレール位置修正



20本の取卸し終了後の状況



作業員たちは、踏切で列車を停めて  
乗車して帰宅

## 作業報告

日 時 2015年3月9日(月) 07:30~12:00

場 所 上り線 14k500m~14k515m

作業内容

A班7名、B班6名、C班7名、D班7名 計27名

- ・ PCマクラギ交換 9本 上り線 14k506m~512m (L=6m)
- ・ 木マクラギ挿入 1本 上り線 14k511m
- ・ むら直し 上り線 14k500m~14k515m

本日より新MR研修生20名が加わり、研修を開始した。B班は第4管区(カロー)、C班は第5管区(タンゲー)、D班は第11管区(バガン)からで、安全靴、ヘルメット、安全チョッキを支給したが、靴のサイズが合わない者がおり、サンダルでの作業を許した。

50N レール継ぎ目部位置を変更したので、バゴ方へ6m程延ばすため、マクラギ交換を行った。新PCマクラギが不足しているため、木マクラギと不良PCマクラギで交換した。不良マクラギについては、マクラギ工場より届き次第、交換していく。

レール穿孔を開始しようとしたが、MRへ譲渡した3台のレール穿孔機が故障しているため、修理に出し、MRのレール穿孔機を使うことになったが、1穿孔に30分ほど掛かるため、12日に予定していた50Nレール交換を1週間ほど延期することにした。その間は、バラスト補充、総つき固めを行う。

最高気温 38℃ 最低気温 27℃ 湿度 27% 晴れ レール温度 49.7℃ (11:30)



安全靴合わせ



指差し称呼の練習



バラスト撤去



マクラギ交換



クリップ締結



水糸で通り直し



バラstkき上げ



むら直し



タンパーで道床締固め



責任者（白ヘル）に事後検査を教える

## 作業報告

日 時 2015年3月10日(火) 07:30~11:00

場 所 上り線 14k410m~14k485m

### 作業内容

A班5名、B班6名、C班7名、D班7名 計25名

- ・バラスト補充 上り線 14k410m~500m
- ・むら直し 上り線 14k420m~480m
- ・レール穿孔 4穿孔

本日はバラスト補充からつき固め、道床締固めの研修コースを行った。

MRのレール穿孔器で穿孔を始めたが、1穿孔当たり40分(位置決め30分、穿孔10分)ほど掛かり、エンジントラブルも多く4穿孔だけであった。

1日6穿孔は可能と思われるが、残り84孔有り、1台の穿孔器では無理なので、来週よりもう1台MRよりお借りして、レール穿孔を行う。穿孔器を2台にしても8日間かかるため、レール交換は4月1日(木)を目標に準備を進める。

また、本日は関西6大学の学生インターン生(8名)の現場視察があった。

明日は、レール穿孔とむら直しを行う。

最高気温 39℃ 最低気温 27℃ 湿度 35% 晴れ レール温度 49.0℃ (11:10)



MRのレール穿孔器



レール穿孔後



学生インターンに説明する Mr. Lin



むら直し後タンパーで締固め

## 作業報告

日 時 2015年3月11日(水) 07:30~11:00

場 所 上り線 14k410m~14k530m

作業内容

A班5名、B班6名、C班7名、D班7名 計25名

- ・むら直し 上り線 14k410m~490m、14k490m~530m
- ・レール穿孔 10孔(中継レール37k部4孔、50Nレール6孔)

レール穿孔機で、新しいビットに変えて穿孔した。穿孔機設置も慣れてきて、10穿孔出来たので、穿孔機は増やさず、このままで進めることにして、9日間ほど掛かるが3月25日には終了となる。

MR研修生は、バラスト運搬をしながら、むら直し(L=120m)を行ったが、まだまだタンパーの取扱いには苦勞している。暑いので、11:00には作業を終了する様努める。

明日から起点方からバラスト補充、総つき固めを行う。

最高気温 39℃ 最低気温 27℃ 湿度 31% 晴れ

レール温度 30.0℃(08:10) 48.0℃(11:00)



レール扛上量の確認



つき固め



タンパー1台に2名でつき固め



水準の確認





レール穿孔機の位置調整



穿孔開始



穿孔時間は約7分間



穿孔した50Nレール



帰宅は列車で1



帰宅は列車で2

## 作業報告

日 時 2015年3月12日(木) 07:30~11:00  
場 所 上り線 14k210m~14k290m、下り線 14k330m~340m

### 作業内容

A班6名、B班6名、C班7名、D班7名 計26名

- ・むら直し 上り線 14k210m~290m、下り線 14k330m~340m
- ・レール穿孔 8孔(50Nレール)

レール穿孔中にビット(中国製)が2本破損で、本日の穿孔は8孔だった。  
88孔中、22で残りは66孔で、ドリルビットを余分に用意して、穿孔する。  
タイタンパーの取扱いは慣れてきたが、バラスト補充をあまりやりたがらない。  
今日の紫外線指数は13だそうで、皮膚がん注意報が出ていたので、4月以降は、作業開始時間を早めるか検討する。

下り線 No16 橋りょう(14k340m 付近)にアバット部の落ち込がひどいので、バラスト補充をして、つき固めを行った。

明日から起点方からバラスト補充、通り整正を行う。

最高気温 40℃ 最低気温 24℃ 湿度 20% 曇りのち晴れ  
レール温度 47.0℃ (11:00)



バラスト運搬



バラスト運搬と事前検測



つき固め



水準の確認



レール穿孔機の位置調整



穿孔



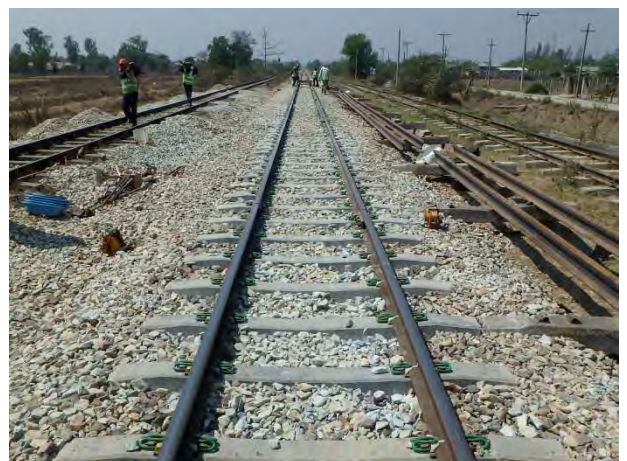
下り線 No16 橋りょうアバット部へバラスト補充



アバット部のつき固め



アバット部施工後



上り線 14k290m からヤンゴン方施工後

## 作業報告

日 時 2015年3月13日(金) 07:30~11:00  
場 所 上り線 14k332m~14k495m、下り線 14k346m~358m

### 作業内容

A班5名、B班6名、C班7名、D班7名 計25名

- ・むら直し 下り線 14k346m~358m
- ・レール穿孔 12孔(50Nレール)
- ・通り整正 上り線 14k350m~495m

レール穿孔は、12孔の穿孔を行い、88孔中、34で残りは54孔となった。

下り線No16橋りょう(14k340m付近)のバゴ一方のアバット部の落ち込がひどいので、バラスト補充をして、むら直しを行った。

上り線No16橋りょう(14k340m付近)よりバゴ一方へ、セオドライトと糸を使って通り整正を行った。

来週はNo16橋りょうの改修を行う。

最高気温 40℃ 最低気温 25℃ 湿度 23% 晴れ レール温度 47.0℃ (11:00)



資機材運搬



下り線アバット部バラスト補充



つき固め



センターの確認



セオドライトでセンター確認後通り整正



水系と和わせてセンター確認



通り整正



レール穿孔機設置



レール穿孔



終了点呼

## 作業報告

日 時 2015年3月16日(月) 07:30~11:10

場 所 上り線 14k300m~14k360m

作業内容

A班5名、B班6名、C班7名、D班7名 計25名

- ・ 総つき固め 上り線 14k300m~340m
- ・ レール穿孔 14孔 (50N レール)
- ・ No16 橋りょう足場工 上下線 14k340m~350m

今日は朝から湿度が70%で、11:00の終了時刻には47%まで下がったが、蒸し暑い一日であった。

レール穿孔用に新ビットを用意して14孔の穿孔を行うことが出来き、88孔中48孔で残りは40孔となった。

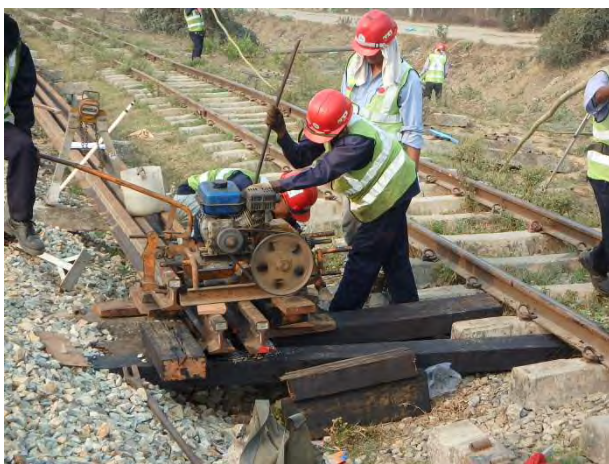
上り線 No16 橋りょう (14k340m 付近) のヤンゴン方までバラスト止めを設置、総つき固めで、10mm 3回レール扛上を行った。

No16 橋りょう (14k340m 付近) の橋マクラギ交換の為、足場工を設置した。

昨夜の夜間作業で積み込んだ橋マクラギの取り降しを行った。

明日は、引き続き No16 橋りょうの前後の総つき固めを行い、橋マクラギ交換の準備作業を行う。

最高気温 38℃ 最低気温 27℃ 湿度 47% 晴れ レール温度 49.9℃ (11:10)



レール穿孔機設置



新しいドリルビット



新しいビットでの穿孔は早い



バラスト止め設置



つき固め



橋りょう足場材運搬



マクラギ交換足場工



足場工は上下線合わせて行う



ほぼ完成した足場工



橋マクラギの取り降り

## 作業報告

日 時 2015年3月17日(火) 07:30~11:20

場 所 上り線 14k290m~14k360m

作業内容

A班5名、B班6名、C班7名、D班7名 計25名

- ・ 総つき固め 上り線 14k290m~360m
- ・ レール穿孔 18孔 (50N レール)
- ・ No16 橋りょう足場工 上下線 14k340m~350m

今日のレール穿孔は、調子よく18孔を行うことが出来き、88孔中66孔で残りは22孔、あと2日で終了、終了次第面取り(穿孔部の端削正)を行う。

上り線 No16 橋りょう (14k340m 付近) の前後部を橋りょう部と水準に総つき固めを行った。また橋りょう部橋マクラギのむら直しを行い、明日より、交換橋マクラギの加工を始める。

No16 橋りょう (14k340m 付近) の足場が完了したが、今後レール交換時も使える様に補強を行う。

明日は、14k350m よりむら直し、下り線橋りょう部のレベル調整を行う。

最高気温 38℃ 最低気温 27℃ 湿度 50% 晴れ

レール温度 27℃ (08:00) 37℃ (09:00) 52℃ (11:30)



型紙で穿孔位置をポンチ打ち



穿孔機位置整正



慣れてくると1穿孔10分間



足場留めの麻縄はまず濡らして





濡れた麻縄で締める



橋下からも補強



橋マクラギのレベル測定



パッキング材を入れて、レベル調整



橋アバット部のレール扛上



完成後の足場工

## 作業報告

日 時 2015年3月18日(水) 07:30~11:00  
場 所 上り線 14k350m~14k410m、下り線 14k335m~355m

### 作業内容

A班5名、B班6名、C班7名、D班7名 計25名

- ・ 総つき固め 上り線 14k350m~410m
- ・ レール穿孔 1孔 (50N レール)
- ・ むら直し 下り線 14k335m~355m
- ・ PCマクラギ挿入 1本下り線 14k340m

今日のレール穿孔は、昨日張切り過ぎた所為か1孔を空けた後、エンジンが止まり、作業は中止。燃料バルブの詰りの為、オーバーホール。明日は別の穿孔機を借りて行う。

88孔中1孔で残りは21孔、明日から穿孔部の面取りを行う。

下り線 No16 橋りょうの橋マクラギ位置整正、レベル調整、合わせて前後部むら直しを行った。

上り線は 14k350m~410m で 10mm のレール扛上を行った。

明日は、上り線 14k450m~500m の総つき固め、上り線 No16 橋りょうの橋マクラギ加工を行う。

最高気温 40℃ 最低気 25℃ 湿度 71% 晴れ レール温度 49℃(10:00) 51℃(11:00)



上り線レベル計測とつき固め



下り線からバラスト補充



上り線総つき固め



上り線総つき固めの後の検測



下り線 No16 橋りょう橋マクラギ位置整正



橋マクラギのレベル整正



ケイ材の取り付け



PC マクラギ挿入



下り線橋アバット部のつき固め



施工後の下り線橋りょう (バギー方)

## 作業報告

日 時 2015年3月19日(木) 07:30~11:30

場 所 上り線 14k340m~14k450m

作業内容

A班6名、B班6名、C班7名、D班7名 計26名

- ・ 総つき固め 上り線 14k385m~450m
- ・ レール穿孔 15孔 (50N レール)
- ・ No16 橋りょう橋マクラギ加工

昨夜 Mahlwagon・Hnizigon 間で、レール破損により脱線で、復旧に時間が掛かり、研修生到着が遅れ、1時間ほど遅い作業開始となった。

ヤンゴン地区の研修生だけで調子よく15孔の穿孔を行った。88孔中15孔で残りは6孔となり、合わせて、穿孔部の面取りを始めた。

No16 橋りょうの橋マクラギ間隔を19インチ (483mm) にしてほしいとのことで、再度マクラギ位置整正を行い、橋マクラギ加工を開始した。

上り線 14k385m~450m に掛けて、総つき固めを行った。

明日もレール穿孔、穿孔部面取り、橋マクラギ加工、総つき固めを行う。

今年一番の暑さとなり、レール温度も57℃となった。

最高気温 42℃ 最低気 28℃ 湿度 51% 晴れ レール温度 57℃(11:30)



レール穿孔機位置調整



レール穿孔



穿孔部面取り



橋マクラギ間隔変更による足場組み直し



橋マクラギ加工 1



橋マクラギ加工 2



総つき固め 1



総つき固め 2



レール扛上後のタンパーによる締固め



施工後の下り線 14k400m 付近 (ヤンゴン方)

## 作業報告

日 時 2015年3月20日(金) 07:30~11:00

場 所 上り線 14k340m~14k505m

### 作業内容

- A班5名、B班6名、C班7名、D班7名 計25名
- ・ 総つき固め 上り線 14k440m~505m
  - ・ レール穿孔 6孔 (50N レール)
  - ・ 穿孔部面取り
  - ・ 上り線 No16 橋りょう橋マクラギ加工 5本
  - ・ 下り線 No16 橋りょう橋通り直し

朝から湿度が高く、霧で視界が悪いため、晴れるまで作業待機した。

レール穿孔は、6孔1時間で終了し、あとはサンダーで面取りをした。

上り線 14k440m~500m に掛けて、総つき固めを行い、32mmを3回に分けてレール扛上した。

また下り線橋りょうの桁位置整正、通し直しも行った。

来週は、下り線橋マクラギ加工、50Nレール交換両端部のマクラギ位置整正、むら直しを行う。

最高気温 40℃ 最低気 28℃ 湿度 40% まばらな雲 レール温度 62℃ (11:15)



朝霧 1



朝霧 2



最後のレール穿孔



穿孔部面取り



橋マクラギ加工



レール扛上



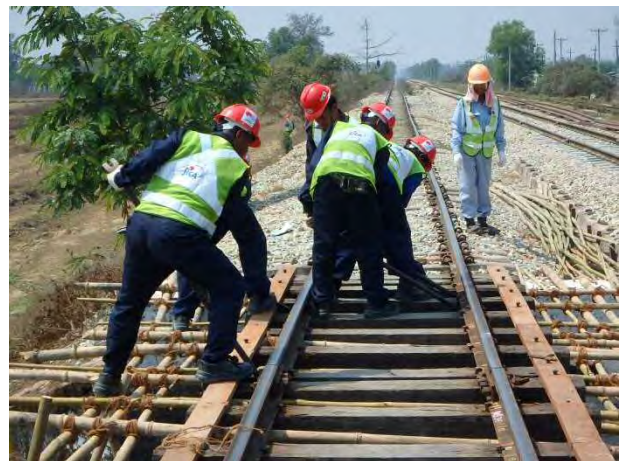
縦つき固め



タイタンパーのブレード破損で、2台交換した



下り線橋りょう桁整正



下り線橋りょう通り直し

## 作業報告

日 時 2015年3月23日(月) 07:30~11:40  
場 所 上り線 14k340m~14k350m、14k510m~535m

### 作業内容

- A班6名、B班6名、C班7名、D班7名 計26名
- ・PCマクラギ位置整正 上り線 14k510m~530m
  - ・PCマクラギ挿入 4本
  - ・継目短マクラギ挿入 2本
  - ・総つき固め 上り線 14k440m~505m
  - ・穿孔部面取り
  - ・上り線 No16 橋りょう橋マクラギ加工 13本
  - ・37k レール運搬 2本 上り線 12k600m~14k500m

中継レール端部・37k レール継ぎ目調整部のマクラギ位置整正を行い、その部分のレール扛上 10 mmを行い、明日もレール扛上を行う。

中継レールと 37k レール継ぎ目調整レールを作るため、37k レール 2本をトロで 12k600m から 14k500m まで運搬した。

上り線橋りょう橋マクラギ 18本の加工が終わったので、明日から橋マクラギ交換を行う。

最高気温 38℃ 最低気 25℃ 湿度 59% 曇り/晴れ レール温度 57℃ (12:00)



バラスト掻き出し



PCマクラギ位置調整



PCマクラギ運搬



PCマクラギ挿入





バラスト掻き上げ



つき固め



上り線 14k535m ヤンゴン方施工後



橋マクラギ加工



下り線 14k240m レール運搬・取り降し



下り線 14k500m レール運搬・取り降し

## 作業報告

日 時 2015年3月24日(月) 07:30~12:00  
場 所 上り線 14k340m~14k350m、14k505m~550m

### 作業内容

- A班5名、B班6名、C班7名、D班7名 計25名
- ・PCマクラギ位置整正 上り線 14k530m~550m
  - ・PCマクラギ挿入 4本
  - ・総つき固め 上り線 14k505m~550m
  - ・上り線 No16 橋りょう橋マクラギ交換 18本
  - ・橋りょうフックボルト取付け(仮)

レール交換部と同様にマクラギ間隔を 630 mmにするために、PCマクラギ位置整正・PCマクラギ挿入を行い、その部分のレール扛上 10 mmを行った。

上り線橋りょう橋マクラギ交換 18本を終え、フックボルトの取り付けを行ったが、フックボルトのサイズが、37k レール用で短いので、仮止めをしておいた。

50N レール用のフックボルトに順次交換していく。

明日は、フックボルトの交換をしながら、橋りょう部のむら直し、ヤンゴン方レール交換端部 37k レール部のマクラギ位置整正、レール扛上を行う。

最高気温 37℃ 最低気 27℃ 湿度 41% 晴れ レール温度 46℃ (12:00)



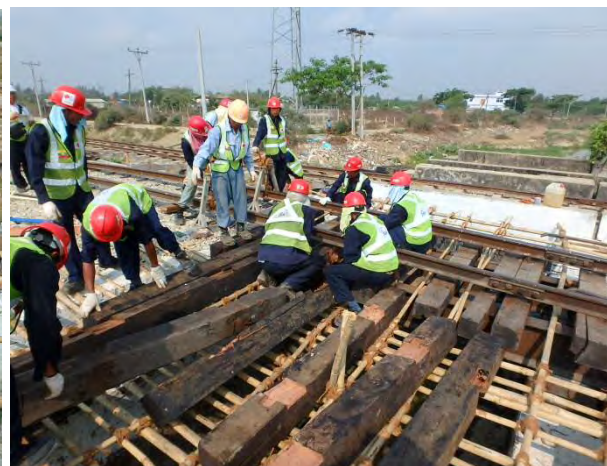
けい材撤去



クリップ解除



イヌクギ撤去



交換マクラギ準備



レール吊り上げ



マクラギ交換



イヌクギ穴穿孔



軌間確認



フックボルト取付け (仮)



レベル確認

## 作業報告

日 時 2015年3月25日(火) 07:30~12:20  
場 所 上り線 14k340m~14k350m、14k195m~250m

### 作業内容

- A班4名、B班6名、C班7名、D班7名 計24名
- ・ PCマクラギ位置整正 上り線 14k195m~250m
  - ・ マクラギ挿入 5本 (PCマクラギ3本、木マクラギ2本)
  - ・ 総つき固め 上り線 14k195m~250m
  - ・ 上り線 No16 橋りょう橋フックボルト取付け 36本
  - ・ 上り線 No16 橋りょう橋むら直し

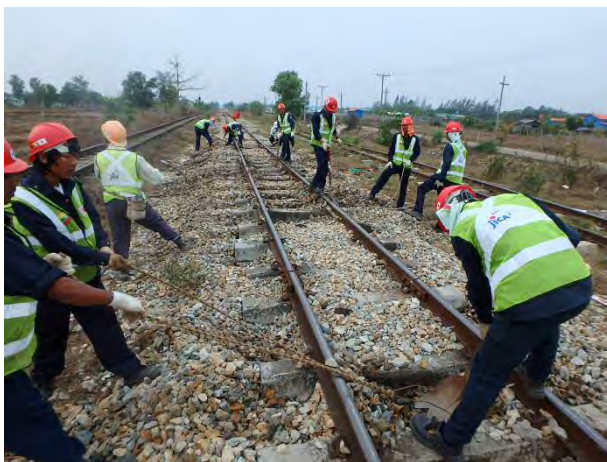
ヤンゴン方レール交換端部のマクラギ間隔を 630 mmにするために、PCマクラギ位置整正・PCマクラギ・木マクラギ挿入を行い、その部分のレール扛上 15 mmを行った。

上り線橋りょう橋フックボルト 36本(日本製 18本、ミャンマー製 18本)を取り付け、橋りょう部のむら直しを行った。

明日は、上り線橋りょう部のレベル調整、橋りょう部前後のつき固め、けい材取付け、及びレール交換起点部(ヤンゴン方)から 50N レールを締結していく。

昨夜スコールが有り、朝からさわやかで、風も有り、暑さも感じず、つつい 12 時過ぎまで作業を行ってしまった。

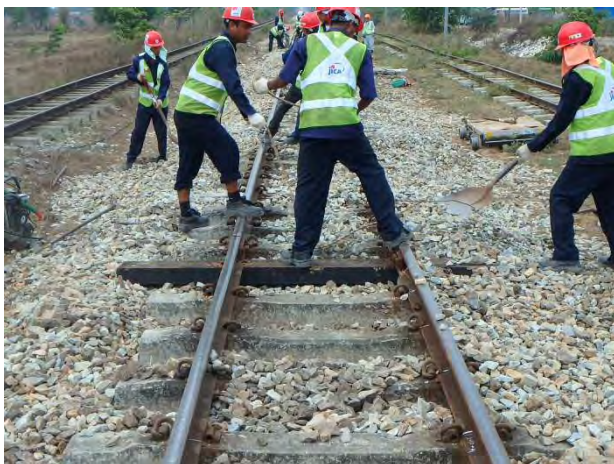
最高気温 38℃ 最低気 26℃ 湿度 32% 曇り レール温度 35℃ (12:30)



バラスト撤去



PCマクラギ位置整正



木マクラギ挿入・バラスト掻き上げ



つき固め



フックボルトの穿孔



フックボルト取付け



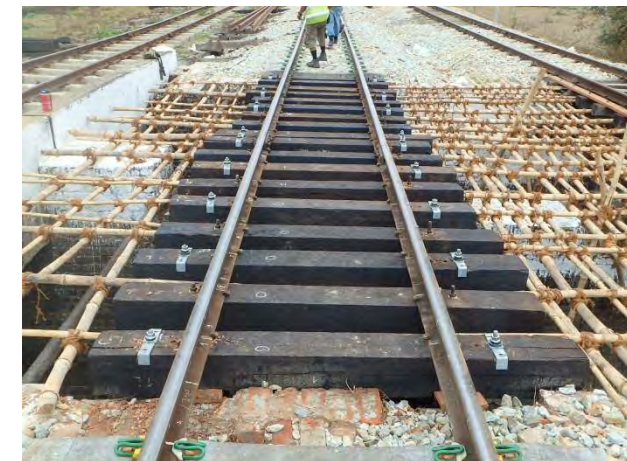
レベル調整



レベル計測



パッキングでレベル調整



仕上がり (ヤンゴン方)

## 作業報告

日 時 2015年3月26日(水) 07:30~12:20  
場 所 上り線 14k335m~14k355m、14k245m~350m

### 作業内容

A班5名、B班6名、C班7名、D班7名 計25名

- ・50N レール継目締結 中継レール+50N レール5本(左右レール)
- ・上り線 No16 橋りょうレベル調整
- ・上り線 No16 橋りょう前後部むら直し

ヤンゴン方レール交換端部の中継レールからレール継ぎ目部から締結を行い、中継レールを含め、5口の継目締結を行った。

MR研修生は、37kレールの取扱いには慣れているが、1.4倍の重さと25mの長さで苦労して、12時過ぎまで掛かったが、半分の125mしか出来なかった。

No16橋りょうでは、フックボルトで、レベル調整を行い、けい材(仮)を軌間内に設置した。

今日は朝方雨が降ったが、日中は蒸し暑く、予定の作業が終わらなかった。

明日は、軍事記念日(祭日)で作業はお休みだが、事務所スタッフでの上り線14k700mから15k500mまでレベル測量を行う。

最高気温 38℃ 最低気 28℃ 湿度 47% まばらな曇 レール温度 52℃(12:30)



レール移動



レール継目締結



レール遊間確認



橋りょうにレール運搬



レール降し



橋りょうにレール運搬 (2本目)



レベル調整



フックボルト



橋りょう前後部のつき固め



仕上がり橋りょうと交換を待つ50Nレール

## 作業報告

日 時 2015年3月30日(月) 07:30~12:30

場 所 上り線 14k240m~14k520m

### 作業内容

A班4名、B班6名、C班7名、D班7名 計24名

- ・50N レール継目締結 中継レール+50N レール5本(左右レール)
- ・37k 調整レール作成 4本
- ・本線レール切断・継目部作成 2ヶ所(ヤンゴン方)

50N レール交換端部からヤンゴン方とバゴーフ方にバラスト補充を要請したが、一部レール交換区間内にも補充されていて、レール交換に支障するので、バラスト整理から作業を開始した。

上り線 14k375m からバゴーフ方レール交換端部中継レールまで継ぎ目部の締結を行い、中継レールを含め、6口の継目締結を行った。

上り本線のレール継目部を合わせるために37k 調整レールを作成したが、レール穿孔機の調子が悪く、切断して穿孔は2孔だけ行った。

ヤンゴン方本線交換端部のレール切断・穿孔を行い、交換のための継目部を作った。

明日は、バゴーフ方本線交換端部のレール切断・穿孔を行い、継目部を作る。

ヤンゴン管区から10名のMR作業員を借り、レール交換作業の予行練習を行う。

最高気温 38℃ 最低気 27℃ 湿度 31% まばらな曇 レール温度 52℃ (12:30)



バラスト整理



37k 調整レール切断



37k 調整レール穿孔



サンドル用マクラギ切断





本線レール切断



本線レール穿孔



ヤンゴン方レール交換間用継目部



50N レール継目締結



50N レール交移動



締結された 50N レールと中継レール

## 作業報告

日 時 2015年3月31日(火) 07:30~14:00

場 所 上り線 14k240m~14k520m

### 作業内容

A班7名、B班5名、C班7名、D班7名、E班11名 計37名

- ・ レール穿孔 10孔 (37k調整レール6孔、本線継目部4孔)
- ・ レール継目締結 中継レール+37k調整レール
- ・ 本線レール切断・継目部作成 2ヶ所 (バゴ一方)
- ・ レール交換訓練 50Nレール移動

ヤンゴン地区のMR作業員11名が加わり、安全靴、ヘルメット、安全チョッキの支給を行い、レール交換の作業方法の説明を行った。

当初250mを一回で交換する計画であったが、10台の山越器で吊り上げてみたら、たわみが大きく、吊り上げられないので、125mで締結解除して、134m(125m+中継レール・37k調整レール)で2回に分けて、レール交換をすることにしたため、準備作業に手間取り、14:00まで掛かった。

また、中継レール37k部と37kレール継ぎ目板の相性が悪く、継ぎ目板を削正して継目締結をしたが、少し段差があるので、レール交換後削正する。

明日は9:00~11:30の線路閉鎖帯で、50Nレール交換を行う。

最高気温40℃ 最低気26℃ 湿度27% まばらな曇 レール温度53℃(14:00)



安全靴とヘルメットと安全チョッキ支給



50Nレール交換作業の説明



37k調整レール穿孔



50Nレールを125mで締結解除



中継レールと調整レールの締結（起点方）



調整レールと中継レールの締結（終点方）



レール山越器準備



50N レール吊り上げ



レール端部（起点方）



レール端部（終点方）